

漁業再建整備特別措置法など

水産三法案、成立

政府が国会の第七十七回会に提出していた水産三法案(漁業再建整備特別措置法、中小漁業融資保証法の一部を改正する法案、漁船船主責任保険臨時措置法)が去る五月十四日成立する。

一、漁業再建整備特別措置法
 法案大綱
 (一) 趣旨
 漁業の経済的諸条件のい

ちじるしい変動及び漁業等と

り連携する環境の変化等

に對する再建をはかるため緊

急に必要な資金の融通

に必要経費につき補助す

る。建設改善計画

(一) 国はその業種に係る中小

漁業者の経営の近代化を促

進することが緊急に必要であ

ると認められるものにつ

をうけることができる。

(2) 国の認定をうけた漁業協

同組合等に対し、整備事業

を実施するために必要な資

金につき農林漁業金融公庫

等から貸付けを行う。

国は構造改善計画または

整備計画の達成のために必

要な助言、指導および資金

の融通のあっせんその他の

援助を行うよう努める。

(3) 漁業離職者対策

漁船の隻数の縮減に伴い

離職者の数が増加するに

伴い、漁業協同組合等は、

離職者を対象とした職業

訓練等の実施に努める。

(4) この法律は公布の日から

施行する。

善基本方針を定める。

(1) 国の認定をうけた水産

三法案(漁業再建整備特別

措置法、中小漁業

融資保証法の一部を改正す

る法案、漁船船主責任

保険臨時措置法)が去る五

月十四日成立する。

建設改善計画

(1) 国はその業種に係る漁業

の状況等に照らし、漁船

の隻数の縮減その他の漁業

の整備を行うことが必要で

あると認められるものにつ

いて業種指定を行い、当該

業種ごとに中小漁業構造改

善費を交付する。

(2) 国は、その業種に係る中

小漁業者の経営の近代化を

促進することが緊急に必要と

認められるものにつ

いて業種指定を行い、当該

業種ごとに中小漁業構造改

善費を交付する。

(3) 国は、その業種に係る中

小漁業者の経営の近代化を

促進することが緊急に必要と

認められるものにつ

いて業種指定を行い、当該

業種ごとに中小漁業構造改

善費を交付する。

心な討議がなされ、勧告文

と水産増殖に関する京

都宣言が採択された。

また、水産増殖は

あらゆる面で推進され得

るものである。そして、

多くの専門分野の有能な

専門家への知的挑戦であ

り、多くの人々にとって

この職業は誇りとされる

ものである。水産増殖

は資金、原料

料、労働の健全

な投資選択対

象であり、得

るべきは、

他の国より大き

くであろう。政府当局は

再生可能な資源、土地お

よび水産物の利用の総合的

な政策および計画の中に

水産増殖を含めるべき

であり、また、基礎とな

るべき天然資源が増加

し、かつ損なわれないよ

うに、限り十分な援助

金、貸付業務および農林中

央金庫に対する融資保証業

務と一元の行をせよと

も、保証保険のてん補率

の改正等を行うことと本

業信用基金協会の中央漁

業信用基金に移行した

業務を定めるものとする。

(一) 保証保険業務の中央漁

業信用基金への移行

(1) 中央漁業信用基金(認可

法人)に移行し、漁業信

用基金協会に対する低利貸

付を行うことができるよう

とする。

(2) 保証保険業務の中央漁

業信用基金への移行

(1) 中央漁業信用基金(認可

法人)に移行し、漁業信

用基金協会に対する低利貸

付を行うことができるよう

とする。

(2) 保証保険業務の中央漁

業信用基金への移行

(1) 中央漁業信用基金(認可

法人)に移行し、漁業信

用基金協会に対する低利貸

付を行うことができるよう

とする。

国は構造改善計画または

整備計画の達成のために必

要な助言、指導および資金

の融通のあっせんその他の

援助を行うよう努める。

(3) 漁業離職者対策

漁船の隻数の縮減に伴い

離職者の数が増加するに

伴い、漁業協同組合等は、

離職者を対象とした職業

訓練等の実施に努める。

(4) この法律は公布の日から

施行する。

二、中小漁業振興特別措置

法は廃止する。

(一) 趣旨

中小漁業者等に対する融

資を円滑にするため、従来

漁業信用基金協会が行う債

務保証につき農林漁業協

同組合の特別保証業務を

中央漁業信用基金(認可

法人)に移行し、漁業信

用基金協会に対する低利貸

付を行うことができるよう

とする。

(2) 保証保険業務の中央漁

業信用基金への移行

(1) 中央漁業信用基金(認可

法人)に移行し、漁業信

用基金協会に対する低利貸

付を行うことができるよう

とする。

(3) 保証保険業務の中央漁

業信用基金への移行

(1) 中央漁業信用基金(認可

法人)に移行し、漁業信

用基金協会に対する低利貸

付を行うことができるよう

とする。

FAO水産増殖

国際会議に参加して

良普及事業の確立、人材

の養成、立法の制定ほか

を勧告した。また、水産

増殖は十分な支援が得

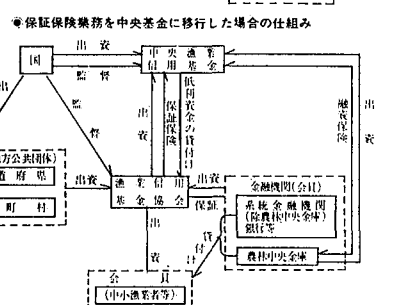
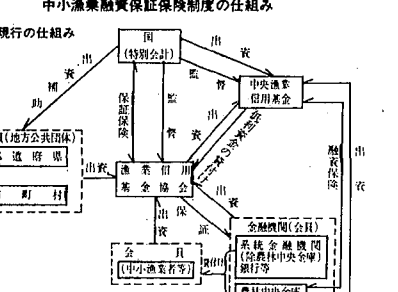
られれば、10年以内に現

在の2倍の収穫、30年以

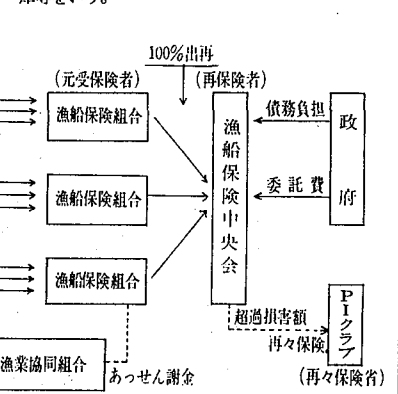
内に5倍とされる。科学的

にうまく適用されるなら

ば、地方の生活に活力を



- (注) 1. 会員とは、漁業信用基金協会の会員資格を示す。
2. 中小漁業者等とは、漁業協同組合、同連合会、漁業生産組合、漁業を営む個人及び法人、漁業従事者、水産加工業協同組合、同連合会、水産加工業を営む個人及び法人をいう。
3. 金融機関とは、農林中央金庫、信用漁業協同組合連合会、指定漁業協同組合、銀行、相互銀行、信用金庫等をいう。



漁船保険中央会に対し必要

な援助を行うように努める

ものとする。

(四) 法律の施行期日および

有効期限は施行の日から五

年以内において別に法律で

定める日とする。

(漁協経営五月号より)

北淡稚魚育成漁場完成

育波沖

昭和49年度より施行して

いた北淡稚魚育成漁場先

の稚魚育成漁場が、昭和51

年3月完成した。

これは、五色町沖合の稚

魚育成漁場と同様、新しい

人工の中高規格の稚魚の

繁殖と保護のための漁場を

造成するもので、栽培漁業

による稚魚放流及び魚礁設

置などを有機的に組み合わ

せた資源培養型漁場の中核

となる。

この北淡町の稚魚育成漁

場は、面積が約40ヘクタ

ルあり、漁場の範囲を示す

標識灯付網欄パイプが6カ

所設置されており、漁場内

には500内外割石が約

一五、〇〇〇割投入されて

おります。

この事業は、公共事業と

して県営事業により一カ所

四、〇〇〇万円、八、〇〇

〇万円の事業費を投じて行

なれます。

今後、県では、この稚魚

育成漁場を沿岸漁場整備開

発法に基づき第一計画とし



ガット船から投入中の割石

4月の漁況と海況

●海況

※播磨灘……1～2日の海洋観測結果では東部各層10.5℃を示し、下水温差はなく平年比較で+0.5℃北西部各層10.2℃で+0.7℃で、南部各層10.8℃で+1.2℃内外、全域にわたって上・下水温差はほとんどなく平年より+0.5℃～+1.2℃高目に経過している。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……19日の海洋観測結果では北西部各層12.6℃を示し、下水温差はなく平年比較で+1.1℃高目。中西部表・中層13.0℃底層13.5℃を示し+1.0℃内外。南西部各層13.4℃～13.5℃を示し-1.0℃内外。淡路島寄り海域では北部では+1.0℃内外高目に反し南部は逆に-1.0℃内外低目に経過している。

※紀伊水道北部……19日の海洋観測結果では東部(和歌山県寄り)表・中層13.4℃、底層14.6℃を示し平年比較で-1.0℃～-1.5℃低目、中部表層14.2℃で-0.6℃、中層13.6℃で-1.0℃、底層14.4℃で+0.3℃、西部(徳島県寄り)では各層12.6℃を示し+0.4℃内外、東・中部海域は紀南分枝流の差込み弱かまた内海系水流出の卓越等による影響で-0.5℃～-1.5℃低目に推移しているが逆に西部ではやや高目に経過している。

●漁況(概況)

各地のノリ養殖場では終末期に入ったが前月に引続き活発な生産を続け、一方漁船漁業もイカナゴ漁などを中心として活況を呈するようになった。明石瀬戸及びその東・西海域では小型底曳網でマダコ、イイダコ、メイタカレイ、アイナメ、アナゴ、ハリイカ、船曳網でイカナゴ。一本釣でススキ、アイナメ、メバル、延縄でアナゴ、アマカレイ、グチ。ブンチン漕いでイシカレイ、アマカレイ、イイダコ、オコゼなど。友ヶ島水道及びその南・北海域では小型底曳網でタイ、イカ、アナゴ、エビ類。刺網でススキ、アマカレイ、イカメバル。延縄でアナゴ、カサゴ。一本釣でメバル、アジ、カサゴ。突棒でサザエ、アワビ、マダコなど。沼島周辺及びその南・西海域では小型底曳網でエビ類、ススキ、ハリイカ、キス、アナゴ、テナガタコ、エソ。一本釣でマダイ、アジ、エソ、メバル、カサゴ。延縄でアナゴ、カサゴ。刺網でハリイカ、メイタカレイ、サザエ、ハギなど。鳴門海峡及びその南・北海域では小型底曳網でエビ、オコゼ、ガザミ、メイタカレイ、アイナメ、ヒラメ、ススキ。一本釣でマダイ、カサゴ。延縄でアナゴ、カサゴなど。播磨灘中・北部では小型底曳網でメイタカレイ、アマカレイ、ウシノシタ、テナガタコ、ハリイカ、ススキなどが各海域での主な漁業とその漁獲対象魚となっている。

●各地(註、以下は1日1隻当りの漁獲量、@は平均単価、何隻は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網マダコ13キロ@1,150@550、イイダコ3キロ550@メイタカレイ10キロ@2,750@1,750、アイナメ7キロ@1,300、アナゴ5キロ@800、ハリイカ5キロ@1,250、10隻(大阪湾)。メイタカレイ15キロ@2,750、アイナメ12キロ@1,300、マダコ15キロ@1,150、イイダコ5キロ@550、アナゴ10キロ@800、アマカレイ10キロ@1,550、10隻(播磨灘)。各一本釣ススキ4～5尾(目録1.0～1.5K)@1,500、アイナメ8キロ@1,750、メバル(赤)5キロ@1,800、(黒)7キロ@2,250、合計40隻。各延縄アマカレイ45キロ@1,800、10隻。アナゴ2.5キロ@750、グチ10キロ@450、2隻。ブンチン漕イシカレイ10キロ@2,000@1,250、アマカレイ5キロ@1,400、イイダコ3キロ@450、オコゼ5キロ@2,250、12隻。イカナゴ船曳網(10日より)5,000～7,000キロ@47、1隻。

※岩屋……船曳網イカナゴ2,000～3,000キロ@55、27隻。小型底曳網メイタカレイ4キロ@3,000、ハリイカ5キロ@1,000、各一本釣メバル5キロ@1,400、アイナメ2キロ@1,600、70隻。ススキ5キロ@1,250、25隻。延縄アナゴ90キロ@2,800@450、10隻。畜網マダコ30キロ@1,200、2隻。ワカメ(乾)13キロ@950、12隻。

※由良……小型底曳網マダイ22キロ@4,000、5隻。アナゴ9キロ@650、イカ11キロ@1,400、白サエビ4キロ@2,500、その他15キロ@300、70隻。各刺網キス18キロ@1,800、10隻。アマカレイ8キロ@1,700、イカ6キロ@1,400、メバル3キロ@1,600、その他17キロ@700、30隻。各延縄アナゴ11キロ@700、カサゴ20キロ@1,200、7隻。アナゴ62キロ@650、その他17キロ@400、6隻。各一本釣メバル22キロ@1,600、20隻。アジ14キロ@1,500、20隻。カサゴ6キロ@1,100、30隻。突棒アワビ4キロ@1,800、サザエ9キロ@750、マダコ3キロ@1,300、10隻。

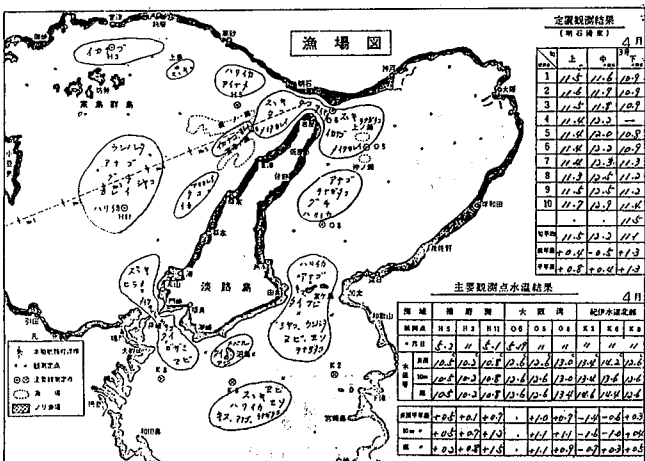
※沼島……小型底曳網カツエビ2キロ@1,800、ススキ3キロ@1,300、ハリイカ10キロ@850、キス9キロ@550、小エビ3キロ@700、テナガタコ10キロ@300、エソ45キロ@70、40隻。各一本釣マダイ4キロ@4,100@3,500@2,800、50隻。アジ15キロ@2,100@600、8隻。エソ35キロ@130、10隻。メバル15キロ@1,200、3隻。カサゴ13キロ@700、3隻。延縄アナゴ20キロ@600、カサゴ4キロ@600、3隻。刺網ハリイカ8キロ@1,000、メイタカレイ2キロ@1,500、サザエ10キロ@650、ハギ3キロ@600、21隻。突棒サザエ10キロ@650、アワビ4キロ@2,700@1,500、タコ2キロ@700@400、6隻。

※丸山……メイタカレイ15キロ@2,560、アイナメ3キロ@700、ヒラメ3キロ@2,000、14隻。ススキ40キロ@900、5隻。延縄アナゴ18キロ@600、カサゴ12キロ@1,200、7隻。

●今後の見込み

※マイワシ……昭和50年下半期における0才魚(49～50年産卵期生れ)はほぼ南海区全般にわたって来遊したが、とくに内海東部の大阪湾や播磨灘、及び西部の豊後水道南部～日向灘に多くみられた。これらのことから、昭和50～51年産卵期に由来する0才魚は南海区全般ではほぼ前年並かこれを上回る程度になるとと思われる。また、産卵後の中・大羽群も前年並か、これをやや上回る程度となる。

※カタクチイワシ……紀伊水道方面では外海域での産卵量の減少、黒潮離岸の現状等からみてあまり期待出来ないだろう。また紀伊水道及び大阪湾南部海域の春シラス漁は近年減少傾向にあるし、海況的にも期待されないで近年の高水準を下回るだろう。(昭和51年春季南海区長期予報会議漁況予報より抜粋)



淡路漁婦連総会開催される

昭和五十一年五月三十一日淡路漁婦連総会が淡路水産センターにおいて、本年度より、岩屋、岩屋共栄、梅田婦人部が新たに加わり、合計五十二名出席の中、開会されました。

まず、桐原副会長から、ただ今注目されておられる三漁合併についての県漁連連からの要請書(四月県漁連記者)を讀まれました。各婦人部の方々も「まったくその通り」と言わんばかりに拍手が起こりました。

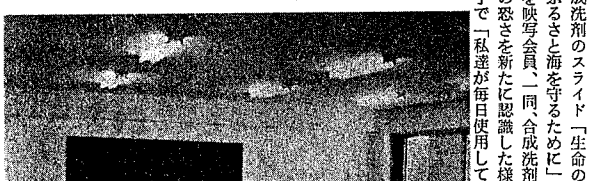
次いで、淡路水産会副会長を始め、県漁連漁業副会長、信濃漁連副会長、全水共北氏、生活改良普及員松並氏からの祝辞を聴きました。

前年度総会で決定された会長長尾山本美智子氏は

病のため、本年度補欠選出された、新たに会長森崎婦人部、森しな子、副会長岩屋共栄婦人部の中川かつよ、富島婦人部宗和時子、理事尾崎婦人部吉田かほる、福良婦人部中村道子、監事淡路婦人部杉谷まさ子、炬口婦人部竹岡久子、顧問桐原一枝と決まりました。残存期間の一年を締めたいいただきますのでこの紙上をお借りし、また、お見知りおき、宜敷くお願い致します。

午後は講演「これからの漁協婦人部のあり方」と題し、県水産課普及係長杉本氏からの有益な話を聞き、一現在の婦人部をもう一度見直しなければ、非常に参考になりました」と一部長の声も聞かれました。

また、婦人部で大きな問題となっており、有言合



成洗剤のストライド「生命のふさと海を守るために」を映写会員一同、合成洗剤の恐ろしさを新たに認識した様子で「私達が毎日使用して

いれるものだからもう少し力を入れ、私達自身で追放しなれば、本場に悪い」と決意も聞かれました。

以上で、無事淡路漁婦連の総会が閉会され、今後の活動が期待されます。(淡路漁婦連・事務局)

漁港協会だより

社団法人全国漁港協会は五月二十四日開催の通管総会において、昭和五十年度の漁港功績者四十五名の表彰を行いました。

本県漁港協会からは、副会長八百尾治氏(御津町)と理事山田岸松氏(泉漁港)の御二人が表彰を受けられました。

また同席上で、四十八年度から五十二年度までの第五次漁港整備計画が五十一年度までの四カ年間の進捗度が五〇%に過ぎない現状と、わが国漁業状況の推移に対応する漁港整備の要請に対し、遅れている漁港整備を初年度とする新しい第六次漁港整備計画の策定を推進することが特に強調されました。

記

第25回近畿漁港ブロック協議会
一、開催月日 昭和五十一年六月二十四日～二十五日
二、場所 三原郡南淡町福良
三、視察先 門崎、育波漁港、垂水漁港、神戸市海公園

文具・事務用品・スチール家具

B.S.サコ

神戸市灘区大石東町6丁目6(BSショッピングセンター)
TEL 神戸 881-0202(代) 881-7205(木曜日専用)

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで

養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所 神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078)621-1527

のり生産用資材機具 展示会開催される

昭和51年度、のり生産用資材機具展示会は、前日かから降り続いた雨もあがった快晴の五月二十二日に、本会館の流通センターにおいて開催された。

その為か、今年度の展示会は、生産者ののり生産用機材の買い替えをひかえ、意気込みも盛んでした。

当日の参加者は四十社で、何れも平素は系統購買を通じて、生産者にはなじみの深い商社ばかりで、大にのり生産の発展に貢献している。来場者の目を楽しませました。

遠くは香川県小豆島の関係者や、山形県二見駅からピストン運転の二台のマイクロスコープが着くたびに、多量の生産者が来会された。当日の参加者は四十社で、何れも平素は系統購買を通じて、生産者にはなじみの深い商社ばかりで、大にのり生産の発展に貢献している。来場者の目を楽しませました。

また会場内の即売コーナーでは、前回の即売が好評だった為、多くの生産者が百貨店の特売風景さながらに、格安な漁網やロープにつめかけ、即売担当者をおぼせていました。

過ぎた年の締めくくりであり、来るべき年へのスタート、また県下の生産者が一堂に会しての情報の交換の場でもあつた。展示会の社交の場でもあつた。例年盛況を重ねることは、生産者にも商社にも意欲深いのがあると考えられます。御来場頂いた生産者及び系統購買の理念に立ち、御協力いただきました山形県各社各位に対し、主催者として紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

十二月十五日セブでの家庭訪問の日だ。前日訪問する家庭が知らされ、英会話の時間に習ったことをもう一度復習する。ノートを読み手帳に書き写すものも、もったいなく練習する。私達4人のグループをアラサス氏が迎えに来てくださった。車に乗って私達に氏は色々話しかけて返答の言葉が出てこない。最初はアラサス氏が経営するゴルフ場に案内された。あらためて自己紹介し、氏の問いかけに辞書を片手に会話をかかわり、アラサス氏は社にレンタカー会社と旅行社を営んでいるらしい。

夕食時アラサス氏の家族を紹介してもらった。長男アフレ、次男アルビン、長女アネット。次女アネットの四人それに通訳の女性を伴って、彼等は学校の屋の時間を利用して出かけて来た。彼女の通訳で気分的に楽になった。食事の後日本もって来た絵はがき、人形等を彼等にプレゼントし下手な英語でそれを説明する。アネット君が私に向かって「エドバクワ・サムライ、カツシントロウ」と云いながら刀を振る格好を見せ四人を驚かせた。

香住高校漁業実習船

「しりうす」進水

水産実業教育の充実をはかる

香住高校漁業科は、在校中に沿岸部における各種の漁業実習を通じて、生徒に沿付与されている二階船型漁業の実態を認識させ、卒業即戦力として役立つ実業教育の充実を目指すとともに、地域漁業振興の一端を担うため、このほど国の助成を得て実習船「しりうす」が建造された。

この新鋭船の進水により、従来旧丸乗船実習で付与されていた二階船型漁業の実態を認識させ、卒業即戦力として役立つ実業教育の充実を目指すとともに、地域漁業振興の一端を担うため、このほど国の助成を得て実習船「しりうす」が建造された。

瀬戸内の海の救急車

患者輸送艇

「いえしま」活躍

兵庫県家島(船越)郡家島を高速を利用してわずか30分、これまで急患間もなく緊急を要する場合、間に合わぬ患者を輸送艇「いえしま」が新建造された。十年前に建造された従来の鋼船だと一時間三十分かかること

これが、この洋上大学で得るべき心のふれあいではないだろうか。

午後6時異国で知り合っただ多くの友に見送られ船は静かに岸を離れた。

盛大に行なわれた洋大祭。十二月十二日は朝から快晴私達が待ち望んでいた洋大祭が開催されることお祭りのアイデアを加えおもしろく、各組各地区が色々のアイデアを加えおもしろく、おかしく作り上げた寸劇、ミニシタル、踊り等を披露して一日を楽しく愉快地過ごそうというものです。

十二月十五日セブでの家庭訪問の日だ。前日訪問する家庭が知らされ、英会話の時間に習ったことをもう一度復習する。ノートを読み手帳に書き写すものも、もったいなく練習する。私達4人のグループをアラサス氏が迎えに来てくださった。車に乗って私達に氏は色々話しかけて返答の言葉が出てこない。最初はアラサス氏が経営するゴルフ場に案内された。あらためて自己紹介し、氏の問いかけに辞書を片手に会話をかかわり、アラサス氏は社にレンタカー会社と旅行社を営んでいるらしい。

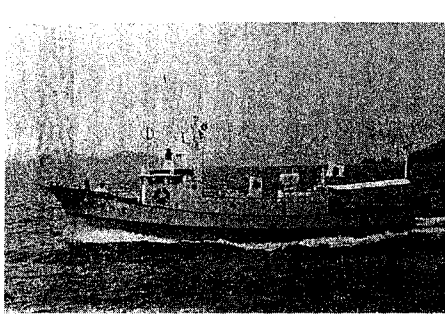
洋上大学に参加して

兵庫県内海漁船保険組合 沢 辺 義 典

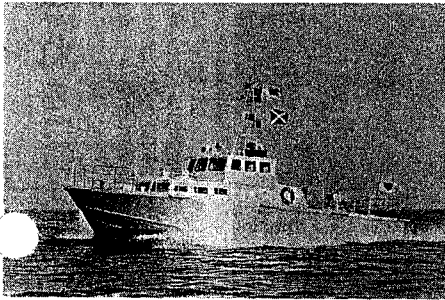
洋上大学、「学長兼幹事」県内の勤労青年の一行6名は、団体生活を共にする事により異国の青年達との交際の中で心のふれあいというものの存在を明らかにするという主旨に基づき船内の団体生活を営しみ、マニラ、コタキナバルと親善の輪を広げていった。



船上での洋大祭各組とも趣向をこらして



しりうす ①船体 長さ14.914.98m 幅 3.73m 深さ1.47m 総トン数 19.61t 船質FRP半板
②機関・速力 主機関(ヤンマーディーゼル6ESD-HT)1基 馬力 漁船法馬力140PS 速力最高速力11.51ノット



いえしま ①船体 船質FRP製 全長17.0m 全巾4.0m 深さ2.2m 総トン数39.09トン ②主機関船用高速ディーゼル機関2基 いすゞ/トビンE120T-MF6RC280PS×2,200RPM ③性能最大速力約20.5ノット 巡航速力約19.0

十二月九日、二日目の今日現地青年とのスポーツ交流会で、バスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、柔道が主な種目です。私はバレーボールの選手として参加した。会場のコートはコンクリートで出ていて照返しが強い。10分間の練習の後試合が開始された。私達のチームは、運動不足と頭上を照りつける太陽の暑さでエラーをかさね3対1で完敗に終わった。しかし言葉の通じない生活環境の異なる若人もバレーボールを通じて一つになつて燃え尽きかけた。そして最後はお互いの健闘をたたえ合い握手をかわした。



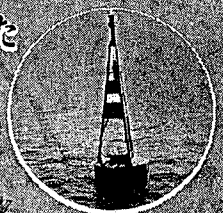
セブでの家庭訪問、アラサス氏の家族

漁船用ディーゼルエンジン専用オイル



三菱石油

信頼された技術から生れた
信頼ある性能品!



株式会社 ゼニライトファイ
池田市豊島南2丁目176-1 TEL (0727) 62-7001